



2026 年 10 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 ベ ル ク
代 表 者 名 代表取締役社長 原島 一誠
(コード番号 9974 東証プライム市場)
問 合 せ 先 専務取締役コンプライアンス室長兼
財務経理部・業務サポート部・
サステナビリティ広報室管掌兼
法務担当 上田 英雄
(TEL. 049-287-0111)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 9 日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2026 年 4 月 10 日に公表いたしました 2027 年 2 月期の通期連結業績予想について、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

なお、配当予想につきましては、前回発表予想から変更はありません。

記

1. 連結業績予想数値の修正

2027 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正(2026 年 3 月 1 日～2027 年 2 月 28 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	434,500 ～454,600	18,000 ～19,800	18,200 ～20,000	12,500 ～13,600	600.07 ～652.88
今回修正予想(B)	443,000	15,400	15,600	9,900	475.26
増減額(B-A)	8,500 ～△11,600	△2,600 ～△4,400	△2,600 ～△4,400	△2,600 ～△3,700	—
増減率(%)	2.0 ～△2.6	△14.4 ～△22.2	△14.3 ～△22.0	△20.8 ～△27.2	—
(参考)前期実績 (2026年2月期)	423,432	17,900	18,168	12,681	608.69

2. 修正の理由

2027 年 2 月期の通期連結業績予想につきましては、多くの損益変動与件があり、また、中東情勢の不確定な状況を考慮してレンジ形式での開示としておりました。

当中間連結会計期間における我が国経済は、物価上昇に伴う消費者の節約志向や生活防衛意識の更なる高まりが見られました。このような環境下、当社グループにおきましては、前年同期の高いハードルに対する反動減に加え、競合他社との価格競争激化等の影響により、客数及び買上点数が下落し、売上高が当初計画を下回る推移となりました。

利益面につきましても、増収によるコスト吸収が困難となったことに加え、中東情勢等に起因する包装資材などの商品仕入価格の上昇や、電気代をはじめとするエネルギーコストの高騰が継続し、荒利益率の低下及び販売管理費の増加を招く結果となりました。

第3四半期以降におきましても、これらの外部環境の不透明さ及びコスト上昇傾向は継続するものと見込まれることから、通期連結業績予想数値を上記の通り修正いたします。

この度の業績下振れを厳粛に受け止め、当社グループでは、以下の施策を最優先で推進し、業績の向上を図ってまいります。

①トップライン(売上高)の回復

チラシ価格をはじめとする価格訴求力の強化や接客レベルの向上等により、最優先課題である「客数の回復」に注力いたします。

②収益構造の改善

今後のさらなるコスト上昇を見据え、店舗オペレーションの効率化や全社的なコスト構造の見直しを行い、販売管理費の最適化を推進いたします。

注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

以上